事例No.	1876
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	宮城県仙台市

事例区分	公営企業

タグ	・交通事業 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

2次元バーコード付き整理券発行による定期券発売所の混雑緩和

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【宮城県仙台市】
2次元コード付き整理券発行による定期券発売所の混雑緩和

DX　交通事業

宮城県仙台市交通局総務部経営企画課

取組の概要

定期券発売所の混雑緩和のため、2次元コード付き整理券を導入した。

◆総事業費　なし（定期券発売業務委託の範囲内での対応）

◆背景

- 例年、年度末や年度初めは、定期券の購入が集中するため、定期券発売所が混雑し、行列により長時間お待たせする状況となっていた。
- この課題を解決するため、LINEと連携することができる2次元コード付き整理券を発行し、待ち時間を他の場所で過ごせるサービスを導入することとした。

◆具体的内容

- スマートフォン等で整理券の2次元コードを読み取ることで、現在の順番を確認できることに加え、LINEで通知を受け取ることができるサービスを導入した。

◆効果

- 待ち人数が把握できることから、待ち時間の目安がより具体的に示せるようになった。
- 行列に並び続ける必要がないため、順番まで他の用事を済ませるなど、時間を有効活用できるようになり、利便性が向上した。

取組のポイント

- より混雑緩和の効果を上げるため、次の取組も継続して実施した。
  ① 公式HPやSNSなど様々な媒体による購入時期分散の呼びかけ
  ② Twitterによる窓口待ち時間のリアルタイム配信

公営企業情報

- 行政区域内人口　1,065,365（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　786.35km²（令和4年1月1日時点）
- 営業路線　バス562.98km
  地下鉄28.67km（令和3年度決算）

整理券イメージ



取組のスケジュール

- 令和4年4月に実証実験を行い、令和5年4月以降、繁忙期に運用を行う。

今後の展望

- 令和5年4月以降の本格実施に向けて体制を整える。
- 利用状況を踏まえ、導入する発売所の拡大を検討する。